



M コマンド

この章では、M で始まる Cisco NX-OS ユニキャスト ルーティング コマンドについて説明します。

mac-list

MAC アドレスに基づいてフィルタするには、**mac-list** コマンドを使用します。MAC リスト エントリを削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
mac-list name [seq number] {permit | deny} mac-address [mac-mask]
```

```
mac-list name [seq number] {permit | deny} mac-address [mac-mask]
```

シンタックスの説明

<i>name</i>	MAC リスト名。名前は、大文字と小文字が区別される 32 文字以下の任意の英数字文字列にできます。
<i>seq number</i>	MAC リスト内のエントリを作成します。 <i>seq</i> の範囲は 1 ~ 4294967294 です。
permit	MAC リスト内の MAC アドレスと一致するパケットまたはルートを許可します。
deny	MAC リスト内の MAC アドレスと一致するパケットまたはルートをブロックします。
<i>mac-address</i>	フィルタ対象の MAC アドレス
<i>mac-mask</i>	照合する MAC アドレスの部分、MAC アドレス形式

デフォルト

match の値は定義されません。

コマンド モード

グローバル コンフィギュレーション

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者
VDC 管理者

コマンドの履歴

リリース	変更内容
5.0(2)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

MAC アドレスに基づいてをフィルタするには、**mac-list** コマンドを使用します。ルート マップ内のこの MAC リストに対して照合できます。

このコマンドには LAN Enterprise ライセンスが必要です。

例

次の例では、Red MAC リストを作成します。

```
switch(config)#mac-list Red seq 1 permit 0022.5579.a4c1 ffff.ffff.0000
```

関連コマンド

コマンド	説明
<code>match mac-list</code>	MAC リスト内の MAC アドレスを照合します。
<code>show mac-list</code>	MAC リストに関する情報を表示します。

match as-number

Border Gateway Protocol (BGP; ボーダー ゲートウェイ プロトコル) Autonomous System (AS; 自律システム) 番号と照合するには、**match as-number** コマンドを使用します。AS 番号リスト エントリを削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
match as-number {number [,number...] | as-path-access-list name [...name]}
```

```
no match as-number {number [,number...] | as-path-access-list name [...name]}
```

シンタックスの説明

<i>number</i>	AS 番号。有効範囲は 1 ~ 65535 です。
<i>...number</i>	(任意) AS 番号。有効範囲は 1 ~ 65535 です。
as-path-access-list <i>name</i>	AS 番号を照合する AS-path アクセス リストを指定します。名前は、63 文字以下の任意の英数字文字列にできます。
<i>...name</i>	(任意) AS-path アクセス リスト。名前は、63 文字以下の任意の英数字文字列にできます。

デフォルト

なし

コマンド モード

ルートマップ コンフィギュレーション (config-route-map)

サポートされるユーザ ロール

ネットワーク管理者
VDC 管理者

コマンドの履歴

リリース	変更内容
4.1(2)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

match as-number コマンドは、正規表現を使用して AS 番号のリストまたは AS-path アクセス リストを生成するために使用します。BGP は、この一致基準を使用して、BGP セッションを構築する BGP ピアを特定します。

ルート マップは、ピアがプレフィクス ピアリングを通してローカル BGP とのセッションを確立可能な AS 番号の範囲を使用するために使用します。Cisco NX-OS は、**match as-number** コマンドがルート マップ内に存在する場合に他の **match** コマンドを無視します。

このコマンドにはライセンスは必要ありません。

例

次に、AS 番号のリストを設定する例を示します。

```
switch(config)# route-map IGP2BGP
switch(config-route-map)# match as-number 64496, 64498-64510
```

関連コマンド

コマンド	説明
ip as-path access-list	AS-path リストを作成します。
neighbor	BGP ピアを設定します。
route-map	あるルーティング プロトコルから別のルーティング プロトコルヘルトを再配布する条件を定義するか、ポリシー ルーティングをイネーブルにします。

match as-path

BGP 自律システム パス アクセス リストを照合するには、ルートマップ コンフィギュレーション モードで **match as-path** コマンドを使用します。パス リスト エントリを削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
match as-path name [...name]
```

```
no match as-path name [...name]
```

シンタックスの説明

<i>name</i>	自律システム パス アクセス リスト。名前は、63 文字以下の任意の英数字文字列にできます。
<i>...name</i>	(任意) 自律システム パス アクセス リスト。最大 32 個のアクセス リスト名を設定できます。

デフォルト

パス リストは定義されません。

コマンドモード

ルートマップ コンフィギュレーション (config-route-map)

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者
VDC 管理者

コマンドの履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

match as-path コマンドを使用して値を設定すると、グローバル値が上書きされます。

ルート マップは複数の部分で構成できます。**route-map** コマンドに関連付けられているどの **match** ステートメントとも一致しないルートは無視されます。したがって、そのルートは発信ルート マップ用にアドバタイズされることも、着信ルート マップ用に受け入れられることもありません。一部のデータのみを変更したい場合は、別のルートマップ セクションに明示的に **match** を指定する必要があります。

このコマンドにはライセンスは必要ありません。

例

次に、Autonomous System (AS; 自律システム) パスと BGP AS パス アクセス リスト 20 を照合する設定の例を示します。

```
switch(config)# route-map IGP2BGP
switch(config-route-map)# match as-path 20
```

関連コマンド

コマンド	説明
match community	BGP コミュニティを照合します。
match ip address	標準または拡張アクセス リストが許可した宛先ネットワーク番号アドレスが含まれるルートを配布し、パケットでポリシー ルーティングを実行します。
match ip next-hop	指定のアクセス リストのいずれかが通過する、ネクストホップ ルータ アドレスを持ったルートをすべて再配布します。
match route-type	指定されたタイプのルートを再配布します。
match tag	指定されたタグと一致するルーティング テーブルのルートを再配布します。
route-map	あるルーティング プロトコルから別のルーティング プロトコルへルートを再配布する条件を定義するか、ポリシー ルーティングをイネーブルにします。
set as-path	BGP ルートの AS パスを変更します。
set comm-list	ルート マップの設定におけるタグ値を自動計算します。
set community	BGP コミュニティ リストを設定します (削除用)。
set level	ルートのインポート先を示します。
set local-preference	AS パスのプリファレンス値を指定します。
set metric (BGP、OSPF、RIP)	ルーティング プロトコルのメトリック値を設定します。
set metric-type	宛先ルーティング プロトコルにメトリック タイプを設定します。
set origin (BGP)	BGP 送信元コードを設定します。
set tag	宛先ルーティング プロトコルの値を設定します。
set vrf	ネクストホップ解決の VRF を設定します。
set weight	ルーティング プロトコルの BGP 重みを指定します。

match community

BGP コミュニティを照合するには、**match community** コマンドを使用します。コンフィギュレーションファイルから **match community** コマンドを削除し、システムをデフォルトの条件（BGP コミュニティリスト エントリを削除）に戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

community name [...name] [exact-match]

no community name [...name] [exact-match]

シンタックスの説明

name	1 つ以上のコミュニティ リスト名。名前は、63 文字以下の任意の英数字文字列にできます。最大 32 のコミュニティ リストを設定できます。
exact-match	(任意) 完全一致が必要であることを示します。指定されたすべてのコミュニティのみが存在する必要があります。

コマンドのデフォルト

ルート マップではコミュニティ リストの照合は行われません。

コマンド モード

ルートマップ コンフィギュレーション (config-route-map)

サポートされるユーザ ロール

ネットワーク管理者
VDC 管理者

コマンドの履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

ルート マップは複数の部分で構成できます。**route-map** コマンドに関連した **match** コマンドと 1 つも一致しないルートは無視されます。そのため、このようなルートは、アウトバウンド ルート マップではアドバタイズされず、インバウンド ルート マップでは受け入れられません。一部のデータのみを変更したい場合は、別のルートマップ セクションに明示的に **match** を指定する必要があります。

コミュニティ リスト番号に基づく照合は、BGP に適用できる **match** コマンドのタイプの 1 つです。

このコマンドにはライセンスは必要ありません。

例

次の例では、2 つの BGP コミュニティと照合されます。

```
switch(config)# route-map test2
switch(config-route-map)# match community bgpLow bgpHigh
```

次に、コミュニティ リスト 1 と一致するルートの重みを 200 に設定する例を示します。標準コミュニティ 109 のみが含まれるルートに 200 の重みが設定されます。

```
switch(config)# ip community-list standard bgpLow permit 109
switch(config)# route-map set_weight
switch(config-route-map)# match community bgpLow exact-match
```

```
switch(config-route-map)# set weight 200
```

次の例は、コミュニティ リスト 500 と一致するルートを示しています。拡張コミュニティ 1 が含まれるルートに 150 の重みが設定されます。

```
switch(config)# ip community-list expanded 500 permit [0-9]*
switch(config)# route-map MAP_NAME permit 10
switch(config-route-map)# match community 500
switch(config-route-map)# set weight 150
```

関連コマンド

コマンド	説明
ip community-list	BGP のコミュニティ リストを作成し、アクセスを制御します。
route-map	1 つのルーティング プロトコルから別のルーティング プロトコルへのルート再配布の条件を定義します。
set weight	ルーティング プロトコルの BGP 重みを指定します。

match extcommunity

ルート マップ内の BGP 拡張コミュニティを照合するには、**match extcommunity** コマンドを使用します。ルート マップから **match** を削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
extcommunity name [...name] [exact-match]
```

```
no extcommunity name [...name] [exact-match]
```

シンタックスの説明

name	1 つ以上の拡張コミュニティ リスト名。名前は、63 文字以下の任意の英数字文字列にできます。最大 32 のコミュニティ リストを設定できます。
exact-match	(任意) 完全一致が必要であることを示します。指定されたすべてのコミュニティとそれらの拡張コミュニティのみが存在する必要があります。

コマンドのデフォルト

ルート マップではコミュニティ リストの照合は行われません。

コマンド モード

ルートマップ コンフィギュレーション (config-route-map)

サポートされるユーザ ロール

ネットワーク管理者
VDC 管理者

コマンドの履歴

リリース	変更内容
4.2(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

ルート マップは複数の部分で構成できます。ルート マップ内の 1 つ以上の **match** コマンドと一致しないルートは無視されます。つまり、ルートは、アウトバウンド ルート マップに対してアドバタイズされず、インバウンド ルート マップに対して受け入れられません。一部のデータのみを変更したい場合は、別のルートマップ セクションに明示的に **match** を指定する必要があります。

コミュニティ リスト番号に基づく照合は、BGP に適用可能な **match** コマンドのタイプのいずれかです。このコマンドにはライセンスは必要ありません。

例

次に、2 つの BGP 拡張コミュニティ リストを照合する例を示します。

```
switch(config)# route-map test2
switch(config-route-map)# match community bgpLocal bgpRemote
```

次の例は、拡張コミュニティ リスト **bgpLocal** と一致するルートの非推移的から推移的への遷移を示しています。

```
switch(config)# ip extcommunity-list standard bgpLocal permit generic nontransitive 1.9
switch(config)# route-map deletCommunity
switch(config-route-map)# match extcommunity bgpLocal exact-match
switch(config-route-map)# set extcommunity generic transitive 1.9
```

関連コマンド

コマンド	説明
ip extcommunity-list	BGP のコミュニティ リストを作成し、アクセスを制御します。
route-map	1 つのルーティング プロトコルから別のルーティング プロトコルへのルート再配布の条件を定義します。
send-community	コミュニティ アトリビュートを BGP ピアに伝搬するように BGP を設定します。
set extcommunity	ルート マップ内の拡張コミュニティを設定します。

match interface

ルート マップ内のインターフェイスを照合するには、**match interface** コマンドを使用します。この **match** 設定を削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

match interface {*interface-type number* [, *interface-type number...*]}

no interface {*interface-type number* [, *interface-type number...*]}

シンタックスの説明

<i>interface-type</i>	インターフェイス タイプ ? を使用して サポートされているインターフェイスのリストを表示します。
<i>number</i>	(任意) インターフェイス番号。 ? を使用して 範囲を表示します。

デフォルト

なし

コマンドモード

ルートマップ コンフィギュレーション (config-route-map)

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者
VDC 管理者

コマンドの履歴

リリース	変更内容
4.1(2)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

match interface コマンドは、ルートを照合するインターフェイスのリストを提供するために使用します。これらのインターフェイスのいずれかによって到達されるルート ネクストホップアドレスは、ルート マップと一致します。

ルート マップは複数の部分で構成できます。**route-map** コマンドに関連付けられているどの **match** ステートメントとも一致しないルートは無視されます。したがって、そのルートは発信ルート マップ用にアドバタイズされることも、着信ルート マップ用に受け入れられることもありません。一部のデータのみを変更したい場合は、別のルートマップ セクションに明示的に **match** を指定する必要があります。

このコマンドにはライセンスは必要ありません。

例

次に、インターフェイスのリストを設定する例を示します。

```
switch(config)# route-map test1
switch(config-route-map)# match interface ethernet 2/1, ethernet 4/3
```

関連コマンド

コマンド	説明
route-map	あるルーティング プロトコルから別のルーティング プロトコルへルートを再配布する条件を定義するか、ポリシー ルーティングをイネーブルにします。

match ip address

宛先 IP ネットワーク番号アドレスが標準アクセス リスト、拡張アクセス リスト、またはプレフィクス リストで許可されているルートを配布する場合、またはパケットでポリシー ルーティングを実行する場合は、ルートマップ コンフィギュレーション モードで **match ip address** コマンドを使用します。

match ip address エントリを削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
match ip address {access-list-name [access-list-name...] | prefix-list prefix-list-name [prefix-list-name...]}
```

```
no match ip address {access-list-name [access-list-name...] | prefix-list prefix-list-name [prefix-list-name...]}
```

シンタックスの説明

<i>access-list-name...</i>	標準アクセス リストまたは拡張アクセス リストの名前。最大 63 文字の英数字を使用できます。省略符合は、複数值（最大 32 のプレフィクス リスト）の入力が可能であることを示します。
prefix-list <i>prefix-list-name...</i>	プレフィクス リストに基づいてルートを配布します。プレフィクス リストには最大 63 文字の英数字を使用できます。省略符合は、複数值（最大 32 のプレフィクス リスト）の入力が可能であることを示します。

デフォルト

アクセス リスト名もプレフィクス リストも指定されません。

コマンド モード

ルートマップ コンフィギュレーション (config-route-map)

サポートされるユーザ ロール

ネットワーク管理者
VDC 管理者

コマンドの履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

access-list-name 引数がサポートされるのは、PBR のルートマップに限定されます。

このコマンド構文内の省略符号 (...) は、*access-list-name* 引数または *prefix-list-name* 引数に複数の値を入力できることを示します。

同じルート マップ サブブロック内の類似 **match** は、「OR」（論理和）でフィルタリングされます。ルート マップ サブブロック全体の中に一致する **match** 節が 1 つあれば、照合の成功として処理されます。非類似 **match** 節は、「AND」（論理積）でフィルタリングされます。したがって、非類似照合は論理的にフィルタリングされます。最初の条件セットが満たされない場合、2 つ目の **match** 節がフィルタリングされます。このプロセスは一致するものが見つかるまで、または **match** 節がなくなるまで続きます。

ルートの再配布またはパケットのポリシー ルーティングを実行するには、ルート マップを使用します。両方の用途について、ここで説明します。

再配布

あるルーティング プロトコルから別のルーティング プロトコルにルートのを再配布する条件を定義するには、**route-map** グローバル コンフィギュレーション コマンドと、**match** および **set route-map** コンフィギュレーション コマンドを使用します。**route-map** コマンドごとに、それに関連した **match** および **set** コマンドのリストがあります。**match** コマンドは、**一致基準**（現在の **route-map** コマンドに許可された再配布の条件）を指定します。**set** コマンドは、**set 処理**（**match** コマンドによって強制される基準が満たされた場合に実行される特定の再配布アクション）を指定します。**no route-map** コマンドは、ルート マップを削除します。

match route-map コンフィギュレーション コマンドには複数の形式があります。**match** コマンドの順序は任意に指定できます。すべての **match** コマンドが満たされないと、**set** コマンドで指定した **set 処理** に従ってルートの再配布が行われません。**match** コマンドの **no** 形式を使用すると、指定した一致基準が削除されます。

ルート マップを使用してルートのを渡す場合、ルートマップの複数のセクションに特定の **match** 節を入力できます。**route-map** コマンドに関連付けられているどの **match** ステートメントとも一致しないルートは無視されます。したがって、そのルートは発信ルート マップ用にアドバタイズされることも、着信ルート マップ用に受け入れられることもありません。一部のデータのみ修正したい場合は、別にルート マップ セクションを設定して明示的に一致基準を指定する必要があります。

ポリシー ルーティング

ルートマップには、ポリシー ルーティングをイネーブルにするというもう 1 つの用途があります。**match ip address** コマンドは、拡張アクセス リスト（プロトコル、プロトコル サービス、送信元または宛先の IP アドレスなど）による一致基準に基づいたパケットのポリシー ルーティングを可能にします。パケットのポリシー ルーティング条件を定義するには、**route-map** グローバル コンフィギュレーション コマンドと、**match** および **set route-map** コンフィギュレーション コマンドに加えて、**ip policy route-map** インターフェイス コンフィギュレーション コマンドも使用します。**route-map** コマンドごとに、それに関連した **match** および **set** コマンドのリストがあります。**match** コマンドは、**一致基準**（ポリシー ルーティングが発生する条件）を指定します。**set** コマンドは、**set 処理**（**match** コマンドによって強制される基準が満たされた場合に実行される特定のルーティング アクション）を指定します。送信元に基づくパケットのポリシー ルーティングを、たとえばアクセス リストを使用して実行できます。

このコマンドにはライセンスは必要ありません。

例

次の例では、アクセス リスト `test` で指定されたアドレスを持つルートが一致と見なされます。

```
switch(config)# feature pbr
switch(config)# interface ethernet 2/10
switch(config-if)# ip policy route-map chicago
switch(config-if)# exit
switch(config)# route-map chicago
switch(config-route-map)# match ip address test
```

関連コマンド

コマンド	説明
ip policy route-map	インターフェイスでポリシー ルーティングに使用するルート マップを特定します。
match as-path	BGP AS パス アクセス リストを照合します。
match community	BGP コミュニティを照合します。
match interface	指定されたインターフェイスのいずれかがネクストホップであるルートを再配布します。
match ip next-hop	指定のアクセス リストのいずれかが通過する、ネクストホップ ルータ アドレスを持ったルートをすべて再配布します。

コマンド	説明
match ip route-source	アクセス リストによって指定されたアドレスで、ルータおよびアクセス サーバによってアドバタイズされたルートを再配布します。
match length	パケットのレベル 3 長に基づいてポリシー ルーティングを実行します。
match metric	指定されたメトリックによりルートを再配布します。
match route-type	指定されたタイプのルートを再配布します。
match tag	指定されたタグと一致するルーティング テーブルのルートを再配布します。
route-map	あるルーティング プロトコルから別のルーティング プロトコルへルートを再配布する条件を定義するか、ポリシー ルーティングをイネーブルにします。
set as-path	BGP ルートの AS パスを変更します。
set automatic-tag	自動的にタグ値を計算します。
set community	BGP コミュニティ アトリビュートを設定します。
set ip default next-hop	ポリシー ルーティングにおいてルート マップの match 句を通過するパケットの宛先への明示ルートを Cisco NX-OS ソフトウェアが持たない場合の出力先を示します。
set ip next-hop	ポリシー ルーティング用のルート マップの match 節を通過したパケットの送出先を示します。
set level	ルートのインポート先を示します。
set local-preference	AS パスのプリファレンス値を指定します。
set metric (BGP、OSPF、RIP)	ルーティング プロトコルのメトリック値を設定します。
set metric-type	宛先ルーティング プロトコルにメトリック タイプを設定します。
set next-hop	ネクストホップのアドレスを指定します。
set tag	宛先ルーティング プロトコルのタグ値を設定します。
set weight	ルーティング プロトコルの BGP 重みを指定します。

match ip multicast

ルートマップの照合に IPv4 マルチキャスト機能を設定するには、**match ip multicast** ルートマップ コンフィギュレーション コマンドを使用します。この **match** 設定を削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
match ip multicast {group address/length | source address/length | rp address/length
[rp-type {asm | bidir}]}
```

```
no match ip multicast
```

シンタックスの説明

group address/length	グループアドレスと、ネットワークマスクの長さ（ビット単位）を次の形式で指定します。 <i>A.B.C.D/length</i> 。ネットワーク番号には、任意の有効な IP アドレスまたはプレフィクスを指定できます。ビットマスクは、0～32 の数値にできます。 group、source、および rp オプションを設定できます。
source address/length	ソースアドレスと、ネットワークマスクの長さ（ビット単位）を次の形式で指定します。 <i>A.B.C.D/length</i> 。ネットワーク番号には、任意の有効な IP アドレスまたはプレフィクスを指定できます。ビットマスクは、0～32 の数値にできます。 group、source、および rp オプションを設定できます。
rp address/length	IPv4 Rendezvous Prefix (RP) と、IPv4 プレフィクスマスクの長さ（ビット単位）を次の形式で指定します。 <i>A.B.C.D/length</i> 。ネットワーク番号には、任意の有効な IPv4 アドレスまたはプレフィクスを指定できます。ビットマスクは、0～32 の数値にできます。 group、source、および rp オプションを設定できます。
rp-type	(任意) マルチキャスト Rendezvous Point (RP; ランデブーポイント) タイプを指定します。
asm	Any-Source Multicast (ASM) RP タイプを指定します。
bidir	双方向 (bidir) マルチキャスト RP タイプを指定します。

コマンドのデフォルト

なし

コマンドモード

ルートマップ コンフィギュレーション (config-route-map)

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者
VDC 管理者

コマンドの履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが追加されました。
4.1(2)	source キーワードが追加されました。

使用上のガイドライン

照合するマルチキャスト アトリビュートを指定するには、**match ip multicast** コマンドを使用します。ルートマップ コンフィギュレーション モードを開始するには、**route-map** コマンドを使用します。**route-map** コマンドを入力すると、プロンプトが次のようになります。

```
switch(config-route-map)#
```

ルートマップ コンフィギュレーション モードになると、**match ip multicast** コマンドを入力できます。

group と **rp** の両方のオプションを設定できます。

このコマンドにはライセンスは必要ありません。

例

照合するネイバーの **group IPv4** プレフィクスと、**IPv4** プレフィクスの長さを指定する例を示します。

```
switch(config)# route-map blueberry
switch(config-route-map)# match ip multicast group 192.0.0.0/19
switch(config-route-map)#
```

照合するネイバーの **group IPv4** プレフィクスと、**rp IPv4** プレフィクスを両方指定する例を示します。

```
switch(config)# route-map raspberry
switch(config-route-map)# match ip multicast group 192.0.0.0/19 rp 209.165.201.0/27
switch(config-route-map)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
ip policy route-map	インターフェイスでポリシー ルーティングに使用するルートマップを特定します。
match as-path	BGP AS パス アクセス リストを照合します。
match community	BGP コミュニティを照合します。
match interface	指定されたインターフェイスのいずれかがネクストホップであるルートを再配布します。
match ip next-hop	指定のアクセス リストのいずれかが通過する、ネクストホップ ルータ アドレスを持ったルートをすべて再配布します。
match ip route-source	アクセス リストによって指定されたアドレスで、ルータおよびアクセス サーバによってアドバタイズされたルートを再配布します。
match length	パケットのレベル 3 長に基づいてポリシー ルーティングを実行します。
match metric	指定されたメトリックによりルートを再配布します。
match route-type	指定されたタイプのルートを再配布します。
match tag	指定されたタグと一致するルーティング テーブルのルートを再配布します。
route-map	あるルーティング プロトコルから別のルーティング プロトコルへルートを再配布する条件を定義するか、ポリシー ルーティングをイネーブルにします。
set as-path	BGP ルートの AS パスを変更します。
set automatic-tag	自動的にタグ値を計算します。
set community	BGP コミュニティ アトリビュートを設定します。
set ip default next-hop	ポリシー ルーティングにおいてルート マップの match 句を通過するパケットの宛先への明示ルートを Cisco NX-OS ソフトウェアが持たない場合の出力先を示します。

コマンド	説明
set ip next-hop	ポリシー ルーティング用のルート マップの match 節を通過したパケットの送出先を示します。
set level	ルートのインポート先を示します。
set local-preference	AS パスのプリファレンス値を指定します。
set metric (BGP、OSPF、RIP)	ルーティング プロトコルのメトリック値を設定します。
set metric-type	宛先ルーティング プロトコルにメトリック タイプを設定します。
set next-hop	ネクストホップのアドレスを指定します。
set tag	宛先ルーティング プロトコルのタグ値を設定します。
set weight	ルーティング プロトコルの BGP 重みを指定します。

match ip next-hop prefix-list

指定のアクセス リストの 1 つとネクストホップ ルータ アドレスが一致した IPv4 ルートを再配布するには、ルートマップ コンフィギュレーション モードで、**match ip next-hop prefix-list** コマンドを使用します。ネクストホップ エントリを削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

match ip next-hop prefix-list *prefix-list-name* [...*prefix-list-name*]

no match ip next-hop prefix-list *prefix-list-name* [...*prefix-list-name*]

シンタックスの説明

<i>prefix-list-name</i>	プレフィクス リストの番号または名前。最大 63 文字の英数字を使用できます。省略符合は、複数值（最大 32 のプレフィクス リスト）の入力が可能であることを示します。
-------------------------	--

コマンドのデフォルト

ネクストホップ アドレスの一致を必要とせず、自由にルートが再配布されます。

コマンド モード

ルートマップ コンフィギュレーション (config-route-map)

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者
VDC 管理者

コマンドの履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンド構文内の省略符号 (...) は、*prefix-list-name* 引数に複数の値を入力できることを示します。あるルーティング プロトコルから別のルーティング プロトコルにルートを再配布する条件を定義するには、**route-map** グローバル コンフィギュレーション コマンドと、**match** および **set route-map** コンフィギュレーション コマンドを使用します。**route-map** コマンドごとに、それに関連した **match** および **set** コマンドのリストがあります。**match** コマンドは、一致基準（現在の **route-map** コマンドに許可された再配布の条件）を指定します。**set** コマンドは、**set** 処理（**match** コマンドによって強制される基準が満たされた場合に実行される特定の再配布アクション）を指定します。**no route-map** コマンドは、ルート マップを削除します。

match route-map コンフィギュレーション コマンドには複数の形式があります。**match** コマンドの順序は任意に指定できます。すべての **match** コマンドが満たされないと、**set** コマンドで指定した **set** 処理に従ってルートの再配布が行われません。**match** コマンドの **no** 形式を使用すると、指定した一致基準が削除されます。

ルート マップを使用してルートを渡す場合、ルート マップは複数の要素を持つことができます。**route-map** コマンドに関連付けられているどの **match** ステートメントとも一致しないルートは無視されます。したがって、そのルートは発信ルート マップ用にアドバタイズされることも、着信ルート マップ用に受け入れられることもありません。一部のデータのみ修正したい場合は、別にルート マップ セクションを設定して明示的に一致基準を指定する必要があります。

このコマンドにはライセンスは必要ありません。

例

次の例では、ネクストホップ ルータ アドレスがプレフィクス リスト test で一致したルートが再配布されます。

```
switch(config)# route-map blue
switch(config-route-map)# match ip next-hop prefix-list test
```

関連コマンド

コマンド	説明
match as-path	BGP AS パス アクセス リストを照合します。
match community	BGP コミュニティを照合します。
match ip address	標準または拡張アクセス リストが許可した宛先ネットワーク番号 アドレスが含まれるルートを配布し、パケットでポリシー ルーティングを実行します。
match ip route-source	アクセス リストによって指定されたアドレスで、ルータおよびアクセス サーバによってアドバタイズされたルートを再配布します。
match route-type	指定されたタイプのルートを再配布します。
match tag	指定されたタグと一致するルーティング テーブルのルートを再配布します。
route-map	あるルーティング プロトコルから別のルーティング プロトコルへルートを再配布する条件を定義するか、ポリシー ルーティングをイネーブルにします。
set as-path	BGP ルートの AS パスを変更します。
set automatic-tag	自動的にタグ値を計算します。
set community	BGP コミュニティ アトリビュートを設定します。
set level	ルートのインポート先を示します。
set local-preference	AS パスのプリファレンス値を指定します。
set metric (BGP、OSPF、RIP)	ルーティング プロトコルのメトリック値を設定します。
set metric-type	宛先ルーティング プロトコルにメトリック タイプを設定します。
set next-hop	ネクストホップのアドレスを指定します。
set tag	宛先ルーティング プロトコルのタグ値を設定します。
set weight	ルーティング プロトコルの BGP 重みを指定します。

match ip route-source prefix-list

アクセス リストに指定されているアドレスのルータおよびアクセス サーバによってアドバタイズされた IPv4 ルートを再配布するには、ルートマップ コンフィギュレーション モードで、**match ip route-source prefix-list** コマンドを使用します。ルート ソース エントリを削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

match ip route-source prefix-list *prefix-list-name* [...*prefix-list-name*]

no match ip route-source prefix-list *prefix-list-name* [...*prefix-list-name*]

シンタックスの説明

<i>prefix-list-name</i>	プレフィクス リストの番号または名前。最大 63 文字の英数字を使用できます。省略符合は、複数值（最大 32 のプレフィクス リスト）の入力が可能であることを示します。
-------------------------	--

デフォルト

ルート ソース に対するフィルタリングは実行されません。

コマンド モード

ルートマップ コンフィギュレーション (config-route-map)

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者
VDC 管理者

コマンドの履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンド構文内の省略符号 (...) は、*prefix-list-name* 引数に複数の値を入力できることを示します。あるルーティング プロトコルから別のルーティング プロトコルにルートを再配布する条件を定義するには、**route-map** グローバル コンフィギュレーション コマンドと、**match** および **set route-map** コンフィギュレーション コマンドを使用します。**route-map** コマンドごとに、それに関連した **match** および **set** コマンドのリストがあります。**match** コマンドは、一致基準（現在の **route-map** コマンドに許可された再配布の条件）を指定します。**set** コマンドは、*set* 処理（**match** コマンドによって強制される基準が満たされた場合に実行される特定の再配布アクション）を指定します。**no route-map** コマンドは、ルート マップを削除します。

match route-map コンフィギュレーション コマンドには複数の形式があります。**match** コマンドの順序は任意に指定できます。すべての **match** コマンドが満たされないと、*set* コマンドで指定した **set** 処理に従ってルートの再配布が行われません。**match** コマンドの **no** 形式を使用すると、指定した一致基準が削除されます。

ルート マップは複数の部分で構成できます。**route-map** コマンドに関連付けられているどの **match** ステートメントとも一致しないルートは無視されます。したがって、そのルートは発信ルート マップ用にアドバタイズされることも、着信ルート マップ用に受け入れられることもありません。一部のデータのみを変更したい場合は、2 番目のルートマップ セクションに明示的に **match** を指定する必要があります。

ルートのネクストホップとソース ルータ アドレスが同じではない場合もあります。

このコマンドにはライセンスは必要ありません。

例

次の例では、アクセス リスト 5 および 80 で指定されているアドレスのルータおよびアクセス サーバによってアドバタイズされたルートが再配布されます。

```
switch(config)# route-map blue
switch(config-route-map)# match ip route-source prefix-list 5 80
```

関連コマンド

コマンド	説明
match as-path	BGP AS パス アクセス リストを照合します。
match community	BGP コミュニティを照合します。
match ip address	標準または拡張アクセス リストが許可した宛先ネットワーク番号アドレスが含まれるルートを配布し、パケットでポリシー ルーティングを実行します。
match ip next-hop	指定のアクセス リストのいずれかが通過する、ネクストホップ ルータ アドレスを持ったルートをすべて再配布します。
match route-type	指定されたタイプのルートを再配布します。
route-map	あるルーティング プロトコルから別のルーティング プロトコルへルートを再配布する条件を定義するか、ポリシー ルーティングをイネーブルにします。
set as-path	BGP ルートの AS パスを変更します。
set automatic-tag	自動的にタグ値を計算します。
set community	BGP コミュニティ アトリビュートを設定します。
set level	ルートのインポート先を示します。
set local-preference	AS パスのプリファレンス値を指定します。
set metric (BGP、OSPF、RIP)	ルーティング プロトコルのメトリック値を設定します。
set metric-type	宛先ルーティング プロトコルにメトリック タイプを設定します。
set next-hop	ネクストホップのアドレスを指定します。
set tag	宛先ルーティング プロトコルのタグ値を設定します。
set weight	ルーティング プロトコルの BGP 重みを指定します。

match ipv6 address

宛先 IPv6 ネットワーク番号アドレスが標準アクセス リスト、拡張アクセス リスト、またはプレフィクス リストで許可されているルートを配布する場合、またはパケットにポリシー ルーティングを実行する場合は、ルートマップ コンフィギュレーション モードで **match ipv6 address** コマンドを使用します。**match** 文をルート マップから削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
match ipv6 address {prefix-list prefix-list-name [prefix-list-name...] | access-list-name
```

```
no match ipv6 address {prefix-list prefix-list-name [prefix-list-name...] | access-list-name}
```

シンタックスの説明

<i>access-list-name...</i>	標準アクセス リストまたは拡張アクセス リストの名前。最大 63 文字の英数字を使用できます。 使用できるのは、ポリシーベース ルーティング用のアクセス リストだけです。
prefix-list <i>prefix-list-name...</i>	プレフィクス リストに基づいてルートを配布します。プレフィクス リストには最大 63 文字の英数字を使用できます。省略符号は、複数の値を入力可能であることを示します。最大 32 のプレフィクス リストを設定できます。

デフォルト

アクセス リスト名もプレフィクス リストも指定されません。

コマンド モード

ルートマップ コンフィギュレーション (config-route-map)

サポートされるユーザ ロール

ネットワーク管理者
VDC 管理者

コマンドの履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

access-list-name 引数がサポートされるのは、PBR のルートマップに限定されます。

このコマンド構文内の省略符号 (...) は、*prefix-list-name* 引数に複数の値を入力できることを示します。

同じルート マップ サブブロック内の類似 **match** は、「OR」(論理和) でフィルタリングされます。ルート マップ サブブロック全体の中に一致する **match** 節が 1 つあれば、照合の成功として処理されます。非類似 **match** 節は、「AND」(論理積) でフィルタリングされます。したがって、非類似照合は論理的にフィルタリングされます。最初の条件セットが満たされない場合、2 つ目の **match** 節がフィルタリングされます。このプロセスは一致するものが見つかるまで、または **match** 節がなくなるまで続きます。

ルートの再配布またはパケットのポリシー ルーティングを実行するには、ルート マップを使用します。両方の用途について、ここで説明します。

再配布

あるルーティング プロトコルから別のルーティング プロトコルにルートを実再配布する条件を定義するには、**route-map** グローバル コンフィギュレーション コマンドと、**match** および **set route-map** コンフィギュレーション コマンドを使用します。**route-map** コマンドごとに、それに関連した **match** および **set** コマンドのリストがあります。**match** コマンドは、一致基準（現在の **route-map** コマンドに許可された再配布の条件）を指定します。**set** コマンドは、**set** 処理（**match** コマンドによって強制される基準が満たされた場合に実行される特定の再配布アクション）を指定します。**no route-map** コマンドは、ルート マップを削除します。

match route-map コンフィギュレーション コマンドには複数の形式があります。**match** コマンドの順序は任意に指定できます。すべての **match** コマンドが満たされないと、**set** コマンドで指定した **set** 処理に従ってルートの再配布が行われません。**match** コマンドの **no** 形式を使用すると、指定した一致基準が削除されます。

ルート マップを使用してルートを実渡す場合、ルートマップの複数のセクションに特定の **match** 節を入力できます。**route-map** コマンドに関連付けられているどの **match** ステートメントとも一致しないルートは無視されます。したがって、そのルートは発信ルート マップ用にアドバタイズされることも、着信ルート マップ用に受け入れられることもありません。一部のデータのみ修正したい場合は、別にルート マップ セクションを設定して明示的に一致基準を指定する必要があります。

このコマンドにはライセンスは必要ありません。

例

次の例では、アクセス リスト名 **red** で指定されたアドレスを持つルートが一致と見なされます。

```
switch(config)# feature pbr
switch(config)# route-map blue
switch(config-route-map)# match ipv6 address red
```

関連コマンド

コマンド	説明
match as-path	BGP AS パス アクセス リストを照合します。
match community	BGP コミュニティを照合します。
match interface	指定されたインターフェイスのいずれかがネクストホップであるルートを再配布します。
match ip next-hop	指定のアクセス リストのいずれかが通過する、ネクストホップ ルータ アドレスを持ったルートをすべて再配布します。
match ip route-source	アクセス リストによって指定されたアドレスで、ルータおよびアクセス サーバによってアドバタイズされたルートを再配布します。
match length	パケットのレベル 3 長に基づいてポリシー ルーティングを実行します。
match metric	指定されたメトリックによりルートを再配布します。
match route-type	指定されたタイプのルートを再配布します。
match tag	指定されたタグと一致するルーティング テーブルのルートを再配布します。
route-map	あるルーティング プロトコルから別のルーティング プロトコルへルートを再配布する条件を定義するか、ポリシー ルーティングをイネーブルにします。
set as-path	BGP ルートの AS パスを変更します。
set automatic-tag	自動的にタグ値を計算します。

コマンド	説明
set community	BGP コミュニティ アトリビュートを設定します。
set ip default next-hop	ポリシー ルーティングにおいてルート マップの match 句を通過するパケットの宛先への明示ルートを Cisco NX-OS ソフトウェアが持たない場合の出力先を示します。
set ip next-hop	ポリシー ルーティング用のルート マップの match 節を通過したパケットの送出先を示します。
set level	ルートのインポート先を示します。
set local-preference	AS パスのプリファレンス値を指定します。
set metric (BGP、OSPF、RIP)	ルーティング プロトコルのメトリック値を設定します。
set metric-type	宛先ルーティング プロトコルにメトリック タイプを設定します。
set next-hop	ネクストホップのアドレスを指定します。
set tag	宛先ルーティング プロトコルのタグ値を設定します。
set weight	ルーティング プロトコルの BGP 重みを指定します。

match ipv6 multicast

ルートマップの照合に IPv6 マルチキャスト機能を設定するには、**match ipv6 multicast** ルートマップ コンフィギュレーション コマンドを使用します。この **match** 設定を削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
ip multicast {group address/length | source address/length | rp address/length [rp-type
{asm | bidir}]}
```

シンタックスの説明

group <i>address/length</i>	グループ アドレスと、ネットワーク マスクの長さ (ビット単位) を次の形式で指定します。 <i>A:B::C:D/length</i> 。ネットワーク番号には、任意の有効な IPv6 アドレスまたはプレフィクスを指定できます。 <i>length</i> の範囲は、0 ~ 0x7FFFFFFF です。 group 、 source 、および rp オプションを指定できます。
source <i>address/length</i>	ソース アドレスと、ネットワーク マスクの長さ (ビット単位) を次の形式で指定します。 <i>A:B::C:D/length</i> 。ネットワーク番号には、任意の有効な IPv6 アドレスまたはプレフィクスを指定できます。 <i>length</i> の範囲は、0 ~ 0x7FFFFFFF です。 group 、 source 、および rp オプションを指定できます。
rp <i>address/length</i>	IPv6 RP と、IPv6 プレフィクス マスクの長さ (ビット単位) を次の形式で指定します。 <i>A:B::C:D/length</i> 。ネットワーク番号には、任意の有効な IPv6 アドレスまたはプレフィクスを指定できます。ビット マスクは、0 ~ 32 の数値にできます。 group 、 source 、および rp オプションを指定できます。
rp-type	(任意) マルチキャスト Rendezvous Point (RP; ランデブー ポイント) タイプを指定します。
asm	Any-Source Multicast (ASM) RP タイプを指定します。
bidir	双方向 (bidir) マルチキャスト RP タイプを指定します。

コマンドのデフォルト

なし

コマンド モード

ルートマップ コンフィギュレーション (config-route-map)

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者
VDC 管理者

コマンドの履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが追加されました。
4.1(2)	source キーワードが追加されました。

使用上のガイドライン

照合するマルチキャスト アトリビュートを指定するには、**match ipv6 multicast** ルートマップ コンフィギュレーション コマンドを使用します。**route-map** コマンドをイネーブルにする前に **PBR** をイネーブルにするには、**feature pbr** グローバル コンフィギュレーション モード コマンドを入力する必要があります。

ルートマップ コンフィギュレーション モードを開始するには、**route-map** コマンドを使用します。**route-map** コマンドを入力すると、プロンプトが次のようになります。

```
switch(config-route-map)#
```

ルートマップ コンフィギュレーション モードになると、**match ipv6 multicast** コマンドを入力できます。

group、**source**、および **rp** オプションを指定できます。

このコマンドにはライセンスは必要ありません。

例

照合するネイバーの **group IPv6** プレフィクスと、**IPv6** プレフィクスの長さを指定する例を示します。

```
switch(config)# route-map blueberry
switch(config-route-map)# match ipv6 multicast group 30:0::0:0/12
switch(config-route-map)#
```

照合するネイバーの **group IPv6** プレフィクスと、**rp IPv6** プレフィクスを両方指定する例を示します。

```
switch(config)# route-map red
switch(config-route-map)# match ipv6 multicast group 30:0::0:0/12 rp 2001:0DB8::/48
switch(config-route-map)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
match as-path	BGP AS パス アクセス リストを照合します。
match community	BGP コミュニティを照合します。
match ipv6 next-hop	指定のアクセス リストのいずれかが通過する、ネクストホップ ルータ アドレスを持ったルートを一括して再配布します。
match ipv6 route-source	アクセス リストによって指定されたアドレスで、ルータおよびアクセス サーバによってアドバタイズされたルートを一括して再配布します。
match length	パケットのレベル 3 長に基づいてポリシー ルーティングを実行します。
match route-type	指定されたタイプのルートを一括して再配布します。
match tag	指定されたタグと一致するルーティング テーブルのルートを一括して再配布します。
route-map	あるルーティング プロトコルから別のルーティング プロトコルへルートを再配布する条件を定義するか、ポリシー ルーティングをイネーブルにします。
set as-path	BGP ルートの AS パスを変更します。
set community	BGP コミュニティ アトリビュートを設定します。
set ipv6 default next-hop	ポリシー ルーティングにおいてルート マップの match 句を通過するパケットの宛先への明示ルートを Cisco NX-OS ソフトウェアが持たない場合の出力先を示します。
set ipv6 next-hop	ポリシー ルーティング用のルート マップの match 節を通過したパケットの送出先を示します。
set level	ルートのインポート先を示します。

コマンド	説明
set local-preference	AS パスのプリファレンス値を指定します。
set metric	ルーティング プロトコルのメトリック値を設定します。
set metric-type	宛先ルーティング プロトコルにメトリック タイプを設定します。
set next-hop	ネクストホップのアドレスを指定します。
set tag	宛先ルーティング プロトコルのタグ値を設定します。
set weight	ルーティング プロトコルの BGP 重みを指定します。

match ipv6 next-hop prefix-list

指定のアクセス リストの 1 つとネクストホップ ルータ アドレスが一致した IPv6 ルートを再配布するには、ルートマップ コンフィギュレーション モードで、**match ip next-hop prefix-list** コマンドを使用します。ネクストホップ エントリを削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

match ipv6 next-hop prefix-list *name* [...*name*]

no match ipv6 next-hop prefix-list *name* [...*name*]

シンタックスの説明

<i>name</i> ...	プレフィクス リストの名前。最大 63 文字の英数字を使用できます。省略符合は、複数値（最大 32 のプレフィクス リスト）の入力が可能であることを示します。
-----------------	---

コマンドのデフォルト

ネクストホップ アドレスの一致を必要とせず、自由にルートが再配布されます。

コマンド モード

ルートマップ コンフィギュレーション (config-route-map)

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者
VDC 管理者

コマンドの履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンド構文内の省略符号 (...) は、*name* 引数に複数の値を入力できることを意味します。

あるルーティング プロトコルから別のルーティング プロトコルにルートを再配布する条件を定義するには、route-map グローバル コンフィギュレーション コマンドと、**match** および **set route-map** コンフィギュレーション コマンドを使用します。**route-map** コマンドごとに、それに関連した **match** および **set** コマンドのリストがあります。**match** コマンドは、一致基準（現在の **route-map** コマンドに許可された再配布の条件）を指定します。**set** コマンドは、set 処理（**match** コマンドによって強制される基準が満たされた場合に実行される特定の再配布アクション）を指定します。**no route-map** コマンドは、ルート マップを削除します。

match route-map コンフィギュレーション コマンドには複数の形式があります。**match** コマンドの順序は任意に指定できます。すべての **match** コマンドが満たされないと、**set** コマンドで指定した **set 処理** に従ってルートの再配布が行われません。**match** コマンドの **no** 形式を使用すると、指定した一致基準が削除されます。



(注)

match コマンドがなく、**set** コマンドだけの許可ルート マップでは、すべてのルートが許可されます。

ルート マップを使用してルートを渡す場合、ルート マップは複数の要素を持つことができます。**route-map** コマンドに関連付けられているどの **match** ステートメントとも一致しないルートは無視されます。したがって、そのルートは発信ルート マップ用にアダプタイズされることも、着信ルート マップ用に受け入れられることもありません。一部のデータのみ修正したい場合は、別にルート マップ セクションを設定して明示的に一致基準を指定する必要があります。

このコマンドにはライセンスは必要ありません。

例

次の例では、ネクストホップ ルータ アドレスがプレフィクス リスト 5 で一致したルートが再配布されます。

```
switch(config)# route-map blue
switch(config-route-map)# match ipv6 next-hop prefix-list test
```

関連コマンド

コマンド	説明
match as-path	BGP AS パス アクセス リストを照合します。
match community	BGP コミュニティを照合します。
match ipv6 next-hop	指定のアクセス リストのいずれかが通過する、ネクストホップ ルータ アドレスを持ったルートをすべて再配布します。
match ip route-source	アクセス リストによって指定されたアドレスで、ルータおよびアクセス サーバによってアダプタイズされたルートを再配布します。
match length	パケットのレベル 3 長に基づいてポリシー ルーティングを実行します。
match route-type	指定されたタイプのルートを再配布します。
match tag	指定されたタグと一致するルーティング テーブルのルートを再配布します。
route-map	あるルーティング プロトコルから別のルーティング プロトコルへルートを再配布する条件を定義するか、ポリシー ルーティングをイネーブルにします。
set as-path	BGP ルートの AS パスを変更します。
set community	BGP コミュニティ アトリビュートを設定します。
set ipv6 default next-hop	ポリシー ルーティングにおいてルート マップの match 句を通過するパケットの宛先への明示ルートを Cisco NX-OS ソフトウェアが持たない場合の出力先を示します。
set ipv6 next-hop	ポリシー ルーティング用のルート マップの match 節を通過したパケットの送出先を示します。
set level	ルートのインポート先を示します。
set local-preference	AS パスのプリファレンス値を指定します。
set metric	ルーティング プロトコルのメトリック値を設定します。
set metric-type	宛先ルーティング プロトコルにメトリック タイプを設定します。
set next-hop	ネクストホップのアドレスを指定します。
set tag	宛先ルーティング プロトコルのタグ値を設定します。
set weight	ルーティング プロトコルの BGP 重みを指定します。

match ipv6 route-source prefix-list

アクセス リストに指定されているアドレスのルータおよびアクセス サーバによってアドバタイズされた IPv6 ルートを再配布するには、ルートマップ コンフィギュレーション モードで、**match ipv6 route-source prefix-list** コマンドを使用します。ルート ソース エントリを削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
match ipv6 route-source prefix-list name [...name]
```

```
no match ipv6 route-source prefix-list name [...name]
```

シンタックスの説明

<i>name...</i>	プレフィクス リストの名前。最大 63 文字の英数字を使用できます。省略符合は、複数値（最大 32 のプレフィクス リスト）の入力が可能であることを示します。
----------------	---

デフォルト

ルート ソース に対するフィルタリングは実行されません。

コマンド モード

ルートマップ コンフィギュレーション (config-route-map)

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者
VDC 管理者

コマンドの履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンド構文内の省略符号 (...) は、*name* 引数に複数の値を入力できることを意味します。

あるルーティング プロトコルから別のルーティング プロトコルにルートを再配布する条件を定義するには、**route-map** グローバル コンフィギュレーション コマンドと、**match** および **set route-map** コンフィギュレーション コマンドを使用します。**route-map** コマンドごとに、それに関連した **match** および **set** コマンドのリストがあります。**match** コマンドは、一致基準（現在の **route-map** コマンドに許可された再配布の条件）を指定します。**set** コマンドは、*set* 処理（**match** コマンドによって強制される基準が満たされた場合に実行される特定の再配布アクション）を指定します。**no route-map** コマンドは、ルート マップを削除します。

match route-map コンフィギュレーション コマンドには複数の形式があります。**match** コマンドの順序は任意に指定できます。すべての **match** コマンドが満たされないと、*set* コマンドで指定した **set 処理** に従ってルートの再配布が行われません。**match** コマンドの **no** 形式を使用すると、指定した一致基準が削除されます。

ルート マップは複数の部分で構成できます。**route-map** コマンドに関連付けられているどの **match** ステートメントとも一致しないルートは無視されます。したがって、そのルートは発信ルート マップ用にアドバタイズされることも、着信ルート マップ用に受け入れられることもありません。一部のデータのみを変更したい場合は、2 番目のルートマップ セクションに明示的に **match** を指定する必要があります。

ルートのネクストホップとソース ルータ アドレスが同じではない場合もあります。

このコマンドにはライセンスは必要ありません。

例

次の例では、プレフィクス リスト **test** で指定されているアドレスのルータおよびアクセス サーバによってアドバタイズされたルートが再配布されます。

```
switch(config)# route-map blue
switch(config-route-map)# match ipv6 route-source prefix-list test
```

関連コマンド

コマンド	説明
match as-path	BGP AS パス アクセス リストを照合します。
match community	BGP コミュニティを照合します。
match ip address	標準または拡張アクセス リストが許可した宛先ネットワーク番号アドレスが含まれるルートを配布し、パケットでポリシー ルーティングを実行します。
match ip next-hop	指定のアクセス リストのいずれかが通過する、ネクストホップ ルータ アドレスを持ったルートをすべて再配布します。
match route-type	指定されたタイプのルートを再配布します。
route-map	あるルーティング プロトコルから別のルーティング プロトコルへルートを再配布する条件を定義するか、ポリシー ルーティングをイネーブルにします。
set as-path	BGP ルートの AS パスを変更します。
set automatic-tag	自動的にタグ値を計算します。
set community	BGP コミュニティ アトリビュートを設定します。
set level	ルートのインポート先を示します。
set local-preference	AS パスのプリファレンス値を指定します。
set metric (BGP、OSPF、RIP)	ルーティング プロトコルのメトリック値を設定します。
set metric-type	宛先ルーティング プロトコルにメトリック タイプを設定します。
set next-hop	ネクストホップのアドレスを指定します。
set tag	宛先ルーティング プロトコルのタグ値を設定します。
set weight	ルーティング プロトコルの BGP 重みを指定します。

match length

レベル 3 パケット長に基づくポリシー ルーティングを実行するには、ルートマップ コンフィギュレーション モードで、**match length** コマンドを使用します。エントリを削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

match length *minimum-length maximum-length*

no match length *minimum-length maximum-length*

シンタックスの説明

<i>minimum-length</i>	一致として許容されるレベル 3 パケット長の最小値（この値を範囲に含む）。範囲は 0 ～ 2147483647 です。
<i>maximum-length</i>	一致として許容されるレベル 3 パケット長の最大値（この値を範囲に含む）。範囲は 0 ～ 2147483647 です。

コマンドのデフォルト

パケット長に基づくポリシー ルーティングは実行されません。

コマンドモード

ルートマップ コンフィギュレーション (config-route-map)

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者
VDC 管理者

コマンドの履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

IPv4 でパケットのポリシー ルーティング条件を定義するには、**ip policy route-map** インターフェイス コンフィギュレーション コマンド、**route-map** グローバル コンフィギュレーション コマンド、および **match** と **set** のルートマップ コンフィギュレーション コマンドを使用します。**ip policy route-map** コマンドは、名前ですべてのルートマップを識別します。各 **route-map** コマンドには、関連する **match** コマンドおよび **set** コマンドのリストがあります。**match** コマンドは、一致基準（ポリシー ルーティングが発生する条件）を指定します。**set** コマンドは、**set 処理**（**match** コマンドによって強制される基準が満たされた場合に実行される特定のルーティングアクション）を指定します。

IPv4 の **match route-map** コンフィギュレーション コマンドには複数の形式があります。**match** コマンドは任意の順序で入力できます。**set** コマンドで指定された **set 処理** に基づいてパケットがルーティングされるようにするためには、すべての **match** コマンドを「通過」する必要があります。**match** コマンドの **no** 形式を使用すると、指定した一致基準が削除されます。

IPv4 では、パケット長に基づくポリシー ルーティングが可能なため、インタラクティブ トラフィックとバルク トラフィックを異なるルータに送信できます。

このコマンドにはライセンスは必要ありません。

例

パケット長を 3 ～ 200 バイトに設定する例を示します。

```
switch(config)# route-map blue
switch(config-route-map)# match length 3 200
```

関連コマンド

コマンド	説明
match ip address	標準または拡張アクセス リストが許可した宛先ネットワーク番号アドレスが含まれるルートを配布し、パケットでポリシー ルーティングを実行します。
match ipv6 address	IPv6 の PBR でパケットの照合に使用する IPv6 アクセス リストを指定します。
match length	パケットのレベル 3 長に基づいてポリシー ルーティングを実行します。
route-map	あるルーティング プロトコルから別のルーティング プロトコルへルートを再配布する条件を定義するか、ポリシー ルーティングをイネーブルにします。
set ip default next-hop	ポリシー ルーティングにおいてルート マップの match 句を通過するパケットの宛先への明示ルートを Cisco NX-OS ソフトウェアが持たない場合の出力先を示します。
set ipv6 default next-hop	一致パケットが転送されるデフォルトの IPv6 ネクストホップを指定します。
set ipv6 next-hop	ポリシー ルーティング用のルート マップの match 節を通過したパケットの送出先を示します。
set ipv6 precedence	IPv6 パケット ヘッダーのプリファレンス値を設定します。

match metric

ルーティング メトリック値と一致するルーティング テーブル内のルートを再配布するには、ルート マップ コンフィギュレーション モードで **match metric** コマンドを使用します。タグ エントリを削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

match metric *metric-value* [+ *deviation-number*] [...*metric-value* [+ *deviation-number*]]

no match metric *metric-value* [+ *deviation-number*] [...*metric-value* [+ *deviation-number*]]

シンタックスの説明

<i>metric-value</i>	内部ルート メトリック。範囲は 1 ～ 4294967295 です。
+ -	メトリックの標準偏差範囲を指定します。ルータは、その範囲内に収まるすべてのメトリックを照合します。
<i>deviation-number</i>	(任意) <i>metric-value</i> 引数に対して設定された数値をオフセットする標準偏差値。 <i>deviation-number</i> 引数は任意の数値にできます。デフォルトはありません。

デフォルト

match の値は定義されません。

コマンド モード

ルートマップ コンフィギュレーション (config-route-map)

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者
VDC 管理者

コマンドの履歴

リリース	変更内容
5.0(2)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

メトリックが指定されたルートを再配布するには、ルートマップ コンフィギュレーション モードで **match metric** コマンドを使用します。ルーティング テーブルから再配布されたルートに関するエントリを削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

deviation-number 引数を使用して、1 つ以上のメトリックまたはメトリックの範囲を指定できます。指定されたメトリックのうち少なくとも 1 つが一致しなければ、コマンドが「通過」しません。

このコマンド構文内の省略符号 (...) は、コマンド入力に複数の引数の値を含めることができることを意味します。

あるルーティング プロトコルから別のルーティング プロトコルにルートを再配布する条件を定義するには、**route-map** グローバル コンフィギュレーション コマンドと、**match** および **set route-map** コンフィギュレーション コマンドを使用します。**route-map** コマンドごとに、それに関連した **match** および **set** コマンドのリストがあります。**match** コマンドは、一致基準 (現在の **route-map** コマンドに許可された再配布の条件) を指定します。**set** コマンドは、**set** 処理 (**match** コマンドによって強制される基準が満たされた場合に実行される特定の再配布アクション) を指定します。**no route-map** コマンドは、ルート マップを削除します。

match route-map コンフィギュレーション コマンドには複数の形式があります。**match** コマンドの順序は任意に指定できます。すべての **match** コマンドが満たされないと、**set** コマンドで指定した **set 処理** に従ってルートの再配布が行われません。**match** コマンドの **no** 形式を使用すると、指定した一致基準が削除されます。

ルート マップは複数の部分で構成できます。**route-map** コマンドに関連付けられているどの **match** ステートメントとも一致しないルートは無視されます。したがって、そのルートは発信ルート マップ用にアドバタイズされることも、着信ルート マップ用に受け入れられることもありません。一部のデータのみを変更したい場合は、2 番目のルートマップ セクションに明示的に **match** を指定する必要があります。

このコマンドには LAN Enterprise ライセンスが必要です。

例

次の例では、ルーティング テーブルに保存されたメトリックが 5 のルートが再配布されます。

```
switch(config)# route-map blueberry
switch(config-route-map)# match metric 5
```

関連コマンド

コマンド	説明
match as-path	BGP AS パス アクセス リストを照合します。
match community	BGP コミュニティを照合します。
match ip address	標準または拡張アクセス リストが許可した宛先ネットワーク番号 アドレスが含まれるルートを配布し、パケットでポリシー ルーティングを実行します。
match ip next-hop	指定のアクセス リストのいずれかが通過する、ネクストホップ ルータ アドレスを持ったルートをすべて再配布します。
match ip route-source	アクセス リストによって指定されたアドレスで、ルータおよびアクセス サーバによってアドバタイズされたルートを再配布します。
match metric	指定されたメトリックによりルートを再配布します。
match tag	指定されたタグと一致するルーティング テーブルのルートを再配布します。
route-map	あるルーティング プロトコルから別のルーティング プロトコルへルートを再配布する条件を定義するか、ポリシー ルーティングをイネーブルにします。
set as-path	BGP ルートの AS パスを変更します。
set community	BGP コミュニティ アトリビュートを設定します。
set level	ルートのインポート先を示します。
set local-preference	AS パスのプリファレンス値を指定します。
set metric	ルーティング プロトコルのメトリック値を設定します。
set metric-type	宛先ルーティング プロトコルにメトリック タイプを設定します。
set next-hop	ネクストホップのアドレスを指定します。
set tag	宛先ルーティング プロトコルのタグ値を設定します。
set weight	ルーティング プロトコルの BGP 重みを指定します。

match mac-list

MAC リスト内の MAC アドレスと一致するルーティング テーブル内のルートを再配布するには、ルートマップ コンフィギュレーション モードで **match mac-list** コマンドを使用します。タグ エントリを削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

match mac-list *listname*

no match mac-list *listname*

シンタックスの説明

<i>listnam</i>	MAC リスト名。名前は、大文字と小文字が区別される 32 文字以下の任意の英数字文字列にできます。
----------------	--

デフォルト

match の値は定義されません。

コマンド モード

ルートマップ コンフィギュレーション (config-route-map)

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者
VDC 管理者

コマンドの履歴

リリース	変更内容
5.0(2)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

MAC アドレスが指定されたルートをネットワークに再配布するには、ルートマップ コンフィギュレーション モードで **match mac-list** コマンドを使用します。ルーティング テーブルから再配布されたルートに関するエントリを削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

あるルーティング プロトコルから別のルーティング プロトコルにルートを再配布する条件を定義するには、**route-map** グローバル コンフィギュレーション コマンドと、**match** および **set route-map** コンフィギュレーション コマンドを使用します。**route-map** コマンドごとに、それに関連した **match** および **set** コマンドのリストがあります。**match** コマンドは、一致基準（現在の **route-map** コマンドに許可された再配布の条件）を指定します。**set** コマンドは、set 処理（**match** コマンドによって強制される基準が満たされた場合に実行される特定の再配布アクション）を指定します。**no route-map** コマンドは、ルート マップを削除します。

match route-map コンフィギュレーション コマンドには複数の形式があります。**match** コマンドの順序は任意に指定できます。すべての **match** コマンドが満たされないと、**set** コマンドで指定した **set 処理** に従ってルートの再配布が行われません。**match** コマンドの **no** 形式を使用すると、指定した一致基準が削除されます。

ルート マップは複数の部分で構成できます。**route-map** コマンドに関連付けられているどの **match** ステートメントとも一致しないルートは無視されます。したがって、そのルートは発信ルート マップ用にアドバタイズされることも、着信ルート マップ用に受け入れられることもありません。一部のデータのみを変更したい場合は、2 番目のルートマップ セクションに明示的に **match** を指定する必要があります。

このコマンドには LAN Enterprise ライセンスが必要です。

例

次の例では、Red MAC リスト内のエントリと一致するルーティング テーブルに保存されたルートを再配布します。

```
switch(config)# route-map blueberry
switch(config-route-map)# match mac-list Red
```

関連コマンド

コマンド	説明
match as-path	BGP AS パス アクセス リストを照合します。
match community	BGP コミュニティを照合します。
match ip address	標準または拡張アクセス リストが許可した宛先ネットワーク番号アドレスが含まれるルートを配布し、パケットでポリシー ルーティングを実行します。
match ip next-hop	指定のアクセス リストのいずれかが通過する、ネクストホップ ルータ アドレスを持ったルートをすべて再配布します。
match ip route-source	アクセス リストによって指定されたアドレスで、ルータおよびアクセス サーバによってアドバタイズされたルートを再配布します。
match metric	指定されたメトリックによりルートを再配布します。
match tag	指定されたタグと一致するルーティング テーブルのルートを再配布します。
route-map	あるルーティング プロトコルから別のルーティング プロトコルへルートを再配布する条件を定義するか、ポリシー ルーティングをイネーブルにします。
set as-path	BGP ルートの AS パスを変更します。
set community	BGP コミュニティ アトリビュートを設定します。
set level	ルートのインポート先を示します。
set local-preference	AS パスのプリファレンス値を指定します。
set metric	ルーティング プロトコルのメトリック値を設定します。
set metric-type	宛先ルーティング プロトコルにメトリック タイプを設定します。
set next-hop	ネクストホップのアドレスを指定します。
set tag	宛先ルーティング プロトコルのタグ値を設定します。
set weight	ルーティング プロトコルの BGP 重みを指定します。

match route-type

指定タイプのルートを再配布するには、ルートマップ コンフィギュレーション モードで **match route-type** コマンドを使用します。ルート タイプ エントリを削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
match route-type {external | internal | level-1 | level-2 | local | nssa-external | type-1 | type-2}
```

```
no match route-type {external | internal | level-1 | level-2 | local | nssa-external | type-1 | type-2}
```

シンタックスの説明

external	外部ルートを指定します (Border Gateway Protocol [BGP]、Enhanced Interior Gateway Routing Protocol [EIGRP]、および Open Shortest Path First [OSPF] タイプ 1/2)。 複数のキーワードを指定できます。
internal	内部ルートを指定します (OSPF エリア内/エリア間) 複数のキーワードを指定できます。
level-1	Intermediate System-to-Intermediate System (IS-IS) レベル 1 ルートを指定します。 複数のキーワードを指定できます。
level-2	IS-IS レベル 2 ルートを指定します。 複数のキーワードを指定できます。
local	ローカル生成ルートを指定します。 複数のキーワードを指定できます。
nssa-external	NSSA 外部ルートを指定します (OSPF タイプ 1/2)。 複数のキーワードを指定できます。
type-1	OSPF 外部タイプ 1 ルートを指定します。 複数のキーワードを指定できます。
type-2	OSPF 外部タイプ 2 ルートを指定します。 複数のキーワードを指定できます。

デフォルト

このコマンドは、デフォルトではディセーブルです。

コマンドモード

ルートマップ コンフィギュレーション (config-route-map)

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者
VDC 管理者

コマンドの履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

あるルーティング プロトコルから別のルーティング プロトコルにルートを再配布する条件を定義するには、**route-map** グローバル コンフィギュレーション コマンドと、**match** および **set route-map** コンフィギュレーション コマンドを使用します。**route-map** コマンドごとに、それに関連した **match** および **set** コマンドのリストがあります。**match** コマンドは、一致基準（現在の **route-map** コマンドに許可された再配布の条件）を指定します。**set** コマンドは、**set** 処理（**match** コマンドによって強制される基準が満たされた場合に実行される特定の再配布アクション）を指定します。**no route-map** コマンドは、ルート マップを削除します。

match route-map コンフィギュレーション コマンドには複数の形式があります。**match** コマンドの順序は任意に指定できます。すべての **match** コマンドが満たされないと、**set** コマンドで指定した **set** 処理に従ってルートの再配布が行われません。**match** コマンドの **no** 形式を使用すると、指定した一致基準が削除されます。

ルート マップは複数の部分で構成できます。**route-map** コマンドに関連付けられているどの **match** ステートメントとも一致しないルートは無視されます。したがって、そのルートは発信ルート マップ用にアドバタイズされることも、着信ルート マップ用に受け入れられることもありません。一部のデータのみを変更したい場合は、2 番目のルートマップ セクションに明示的に **match** を指定する必要があります。

複数のキーワードを指定できます。

このコマンドにはライセンスは必要ありません。

例

内部ルートを再配布する例を示します。

```
switch(config)# route-map blueberry
switch(config-route-map)# match route-type internal
```

内部ルートと type-1 OSPF ルートを再配布する例を示します。

```
switch(config)# route-map blueberry
switch(config-route-map)# match route-type internal type-1
```

関連コマンド

コマンド	説明
match as-path	BGP AS パス アクセス リストを照合します。
match community	BGP コミュニティを照合します。
match ip address	標準または拡張アクセス リストが許可した宛先ネットワーク番号 アドレスが含まれるルートを配布し、パケットでポリシー ルーティングを実行します。
match ip next-hop	指定のアクセス リストのいずれかが通過する、ネクストホップ ルータ アドレスを持ったルートをすべて再配布します。
match ip route-source	アクセス リストによって指定されたアドレスで、ルータおよびアクセス サーバによってアドバタイズされたルートを再配布します。
match metric	指定されたメトリックによりルートを再配布します。
match tag	指定されたタグと一致するルーティング テーブルのルートを再配布します。

コマンド	説明
route-map	あるルーティング プロトコルから別のルーティング プロトコルへルートを再配布する条件を定義するか、ポリシー ルーティングをイネーブルにします。
set as-path	BGP ルートの AS パスを変更します。
set community	BGP コミュニティ アトリビュートを設定します。
set level	ルートのインポート先を示します。
set local-preference	AS パスのプリファレンス値を指定します。
set metric	ルーティング プロトコルのメトリック値を設定します。
set metric-type	宛先ルーティング プロトコルにメトリック タイプを設定します。
set next-hop	ネクストホップのアドレスを指定します。
set tag	宛先ルーティング プロトコルのタグ値を設定します。
set weight	ルーティング プロトコルの BGP 重みを指定します。

match tag

指定タグと一致するルーティング テーブル内のルートを再配布するには、ルートマップ コンフィギュレーション モードで **match tag** コマンドを使用します。タグ エントリを削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
match tag tag-value [...tag-value]
```

```
no match tag tag-value [...tag-value]
```

シンタックスの説明

<i>tag-value</i>	1 つ以上のルート タグ値のリスト。0 ~ 4294967295 の整数を指定できます。最大 32 個のタグを設定できます。
------------------	--

デフォルト

match tag の値は定義されません。

コマンド モード

ルートマップ コンフィギュレーション (config-route-map)

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者
VDC 管理者

コマンドの履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンド構文内の省略符号 (...) は、*tag-value* 引数に複数の値を入力できることを示します。

あるルーティング プロトコルから別のルーティング プロトコルにルートを再配布する条件を定義するには、**route-map** グローバル コンフィギュレーション コマンドと、**match** および **set route-map** コンフィギュレーション コマンドを使用します。**route-map** コマンドごとに、それに関連した **match** および **set** コマンドのリストがあります。**match** コマンドは、**一致基準** (現在の **route-map** コマンドに許可された再配布の条件) を指定します。**set** コマンドは、**set 処理** (**match** コマンドによって強制される基準が満たされた場合に実行される特定の再配布アクション) を指定します。**no route-map** コマンドは、ルート マップを削除します。

match route-map コンフィギュレーション コマンドには複数の形式があります。**match** コマンドの順序は任意に指定できます。すべての **match** コマンドが満たされないと、**set** コマンドで指定した **set 処理** に従ってルートの再配布が行われません。**match** コマンドの **no** 形式を使用すると、指定した一致基準が削除されます。

ルート マップは複数の部分で構成できます。**route-map** コマンドに関連付けられているどの **match** ステートメントとも一致しないルートは無視されます。したがって、そのルートは発信ルート マップ用にアドバタイズされることも、着信ルート マップ用に受け入れられることもありません。一部のデータのみを変更したい場合は、2 番目のルートマップ セクションに明示的に **match** を指定する必要があります。

このコマンドにはライセンスは必要ありません。

例

次の例では、ルーティング テーブルに保存されているタグ 5 のルートが再配布されます。

```
switch(config)# route-map blueberry
switch(config-route-map)# match tag 5
```

関連コマンド

コマンド	説明
match as-path	BGP AS パス アクセス リストを照合します。
match community	BGP コミュニティを照合します。
match ip address	標準または拡張アクセス リストが許可した宛先ネットワーク番号 アドレスが含まれるルートを配布し、パケットでポリシー ルーティングを実行します。
match ip next-hop	指定のアクセス リストのいずれかが通過する、ネクストホップ ルータ アドレスを持ったルートをすべて再配布します。
match ip route-source	アクセス リストによって指定されたアドレスで、ルータおよびアクセス サーバによってアドバタイズされたルートを再配布します。
match metric	指定されたメトリックによりルートを再配布します。
match tag	指定されたタグと一致するルーティング テーブルのルートを再配布します。
route-map	あるルーティング プロトコルから別のルーティング プロトコルへルートを再配布する条件を定義するか、ポリシー ルーティングをイネーブルにします。
set as-path	BGP ルートの AS パスを変更します。
set community	BGP コミュニティ アトリビュートを設定します。
set level	ルートのインポート先を示します。
set local-preference	AS パスのプリファレンス値を指定します。
set metric	ルーティング プロトコルのメトリック値を設定します。
set metric-type	宛先ルーティング プロトコルにメトリック タイプを設定します。
set next-hop	ネクストホップのアドレスを指定します。
set tag	宛先ルーティング プロトコルのタグ値を設定します。
set weight	ルーティング プロトコルの BGP 重みを指定します。

match vlan

指定された VLAN を使用してルートをフィルタするには、**match vlan** コマンドを使用します。ルーティング テーブルから再配布されたルートに関するエントリを削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

match vlan *vlan-range*

no match vlan *vlan-range*

シンタックスの説明

<i>vlan-range</i>	このコマンドで照合される VLAN の範囲。指定できる範囲は 1 ~ 4094 です。
-------------------	---

デフォルト

match vlan の値は定義されません。

コマンド モード

ルートマップ コンフィギュレーション (config-route-map)

サポートされるユーザ ロール

ネットワーク管理者
VDC 管理者

コマンドの履歴

リリース	変更内容
5.0(2)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

指定された VLAN を使用してルートをフィルタするには、**match vlan** コマンドを使用します。1 つ以上の VLAN または VLAN の範囲を指定できます。指定された VLAN のうち少なくとも 1 つが一致しなければ、コマンドが「通過」しません。このコマンドは、範囲内に収まるすべての VLAN を照合します。

あるルーティング プロトコルから別のルーティング プロトコルにルートを再配布する条件を定義するには、**route-map** グローバル コンフィギュレーション コマンドと、**match** および **set route-map** コンフィギュレーション コマンドを使用します。**route-map** コマンドごとに、それに関連した **match** および **set** コマンドのリストがあります。**match** コマンドは、**一致基準**（現在の **route-map** コマンドに許可された再配布の条件）を指定します。**set** コマンドは、**set 処理**（**match** コマンドによって強制される基準が満たされた場合に実行される特定の再配布アクション）を指定します。**no route-map** コマンドは、ルート マップを削除します。

match route-map コンフィギュレーション コマンドには複数の形式があります。**match** コマンドの順序は任意に指定できます。すべての **match** コマンドが満たされないと、**set** コマンドで指定した **set 処理** に従ってルートの再配布が行われません。**match** コマンドの **no** 形式を使用すると、指定した一致基準が削除されます。

ルート マップは複数の部分で構成できます。**route-map** コマンドに関連付けられているどの **match** ステートメントとも一致しないルートは無視されます。したがって、そのルートは発信ルート マップ用にアドバタイズされることも、着信ルート マップ用に受け入れられることもありません。一部のデータのみを変更したい場合は、2 番目のルートマップ セクションに明示的に **match** を指定する必要があります。

このコマンドにはライセンスは必要ありません。

例

次の例では、VLAN 5-10 と一致するルートを再配布します。

```
switch(config)# route-map blueberry
switch(config-route-map)# match vlan 5-10
```

関連コマンド

コマンド	説明
match as-path	BGP AS パス アクセス リストを照合します。
match community	BGP コミュニティを照合します。
match ip address	標準または拡張アクセス リストが許可した宛先ネットワーク番号アドレスが含まれるルートを配布し、パケットでポリシー ルーティングを実行します。
match ip next-hop	指定のアクセス リストのいずれかが通過する、ネクストホップ ルータ アドレスを持ったルートをすべて再配布します。
match ip route-source	アクセス リストによって指定されたアドレスで、ルータおよびアクセス サーバによってアドバタイズされたルートを再配布します。
match metric	指定されたメトリックによりルートを再配布します。
match tag	指定されたタグと一致するルーティング テーブルのルートを再配布します。
route-map	あるルーティング プロトコルから別のルーティング プロトコルへルートを再配布する条件を定義するか、ポリシー ルーティングをイネーブルにします。
set as-path	BGP ルートの AS パスを変更します。
set community	BGP コミュニティ アトリビュートを設定します。
set level	ルートのインポート先を示します。
set local-preference	AS パスのプリファレンス値を指定します。
set metric	ルーティング プロトコルのメトリック値を設定します。
set metric-type	宛先ルーティング プロトコルにメトリック タイプを設定します。
set next-hop	ネクストホップのアドレスを指定します。
set tag	宛先ルーティング プロトコルのタグ値を設定します。
set weight	ルーティング プロトコルの BGP 重みを指定します。

max-metric router-lsa (OSPF)

最大メトリックのアドバタイズによって、他のルータがそのルータを Shortest Path First (SPF; 最短パス優先) 計算の中間ホップとして優先的に使用しないように Open Shortest Path First (OSPF) プロトコルを設定するには、**max-metric router-lsa** コマンドを使用します。最大メトリックのアドバタイズをディセーブルにするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

max-metric router-lsa [**on-startup** [*seconds* | **wait-for bgp tag**]]

no max-metric router-lsa [**on-startup** [*seconds* | **wait-for bgp tag**]]

シンタックスの説明

on-startup	(任意) 起動時にルータが最大メトリックをアドバタイズするように設定します。
<i>seconds</i>	(任意) 指定の時間間隔でアドバタイズされる最大メトリック (秒)。設定範囲は 5 ~ 86400 秒です。デフォルトは 600 秒です。
wait-for bgp tag	Border Gateway Protocol (BGP; ボーダー ゲートウェイ プロトコル) ルーティング テーブルがコンバージするまで、またはデフォルト タイマーが切れるまで、最大メトリックをアドバタイズします。デフォルト タイマーは 600 秒です。

デフォルト

通常のリンク メトリックでルータの Link-State Advertisement (LSA; リンクステート アドバタイズメント) を開始します。

コマンド モード

ルータ コンフィギュレーション
ルータ VRF コンフィギュレーション

サポートされるユーザ ロール

ネットワーク管理者
VDC 管理者

コマンドの履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

max-metric router-lsa コマンドは、非スタブ リンクを通して、最大メトリック (LSInfinity: 0xFFFF) の LSA を開始するために使用します。これによって、通過トラフィックを引き込むことなく、BGP ルーティング テーブルのコンバージが可能になります (より安価なルータへの代替パスがない場合)。設定されたタイマーまたはデフォルト タイマーの満了後、あるいは BGP によってルーティング テーブルのコンバージェンス終了が通知されたあとは、ルータは正確な (通常の) メトリックをアドバタイズします。



(注)

スタブ リンクのコストは常に出力インターフェイス コストに設定されているので、最大または無限のメトリックを設定しても、スタブ ネットワーク内の直接接続リンクには影響しません。

max-metric router-lsa コマンドは次の場合に使用できます。

- ルータのリロード時。ルータのリロード後、Interior Gateway Protocol (IGP) はすぐにコンバートするので、他のルータは新しくリロードされたルータを通じてトラフィックを転送しようとする可能性があります。そのルータがまだ BGP ルーティング テーブルを確立中の場合、そのルータが BGP を通じて学習していない他のネットワークを宛先とするパケットはドロップされます。
- ルータをネットワークに導入するが、そのルータがトラフィックを中継しないようにする場合。OSPF ネットワークにルータを接続したいが、他にも良い代替パスがある場合は、そのルータを通じて実際のトラフィックを転送したくない場合もあります。代替パスがない場合は、このルータがトラフィックの中継を受け入れます。
- ネットワークからルータを正常に取り外す場合。この機能を使用して、すべてのリンクに最大メトリックをアダプタイズすると、ルータのシャットダウン前に他のルータはトラフィック伝送に代替パスを選択できるようになるため、ルータを正常終了させて取り外すことができます。



(注)

ルータにグレースフル シャットダウンが設定されている場合は実行コンフィギュレーションを保存しないでください。保存すると、リロード後にもルータは最大メトリックのアダプタイズを続行します。

このコマンドには、Enterprise Services ライセンスが必要です。

例

100 秒の最大メトリックをアダプタイズするように OSPF 実行ルータを設定する例を示します。

```
switch(config)# router ospf 100
switch(config-router)# max-metric router-lsa on-startup 100
```

次の例では、ルータは、BGP ルーティング テーブルがコンバートするまで、またはデフォルト タイマーが満了する (600 秒) まで、最大メトリックをアダプタイズします。

```
switch(config)# router ospf 100
switch(config-router)# max-metric router-lsa on-startup wait-for bgp bgpTag
```

関連コマンド

コマンド	説明
show ip ospf	OSPF ルーティング プロセスに関する一般的な情報を表示します。

max-lsp-lifetime

Link-State Packet (LSP; リンクステート パケット) がリフレッシュされずに維持される最大時間を設定するには、**max-lsp-lifetime** コンフィギュレーション モード コマンドを使用します。デフォルトの時間に戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

max-lsp-lifetime *value*

no max-lsp-lifetime

シンタックスの説明

<i>value</i>	(任意) 最大 LSP ライフタイム (秒単位)。範囲は 1 ~ 65535 です。デフォルトは 1200 です。
--------------	---

コマンドのデフォルト

デフォルトは 1200 秒です。

コマンド モード

ルータ コンフィギュレーション
VRF コンフィギュレーション

サポートされるユーザ ロール

ネットワーク管理者
VDC 管理者

コマンドの履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

LSP の最大ライフタイムは、LSP のリフレッシュ間隔よりも大きな値にする必要があります。このコマンドには、Enterprise Services ライセンスが必要です。

コマンドのデフォルト

LSP の最大維持時間を 11,000 秒 (3 時間以上) に設定する例を示します。

```
switch(config)# router isis
switch(config-router)# max-lsp-lifetime 11000
```

関連コマンド

コマンド	説明
exit	現在のコンフィギュレーション モードを終了します。
feature isis	ルータ上の IS-IS をイネーブルにします。
no	コマンドを無効にするか、またはデフォルト設定にします。
router isis	IS-IS をイネーブルにします。

maxas-limit

AS-path アトリビュート内の AS 番号が大きいルートを破棄するように external Border Gateway Protocol (eBGP) を設定するには、**maxas-limit** コマンドを使用します。デフォルトに戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

maxas-limit [*number*]

no maxas-limit

シンタックスの説明	<i>number</i>	(任意) AS-path アトリビュート内で許可された AS 番号の最大値。範囲は 1 ~ 2000 です。
-----------	---------------	--

コマンドのデフォルト	No limit
------------	----------

コマンド モード	ルータ コンフィギュレーション VRF コンフィギュレーション
----------	------------------------------------

サポートされるユーザロール	ネットワーク管理者 VDC 管理者
---------------	----------------------

コマンドの履歴	リリース	変更内容
	4.1(2)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン	このコマンドには、Enterprise Services ライセンスが必要です。
------------	--

コマンドのデフォルト	次に、AS 番号の最大値を 50 に設定する例を示します。
------------	-------------------------------

```
switch(config)# router bgp 64496
switch(config-router)# maxas-limit 50
```

関連コマンド	コマンド	説明
	feature bgp	BGP 機能をイネーブルにします。
	router bgp	BGP インスタンスを作成します。

maximum-paths (BGP)

Border Gateway Protocol (BGP; ボーダー ゲートウェイ プロトコル) がサポートするパラレル ルートの最大数を制御するには、**maximum-paths** コンフィギュレーション モード コマンドを使用します。デフォルトのパラレル ルート数に戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
maximum-paths [ibgp] number-paths
```

```
no maximum-paths [ibgp] number-paths
```

シンタックスの説明

ibgp	interior BGP (iBGP) パスの最大数を設定します。
<i>number-paths</i>	IP ルーティング プロトコルがルーティング テーブルにインストールするパラレル ルートの最大数。範囲は 1 ~ 16 です。

コマンドのデフォルト

8 パス

コマンド モード

ルータ アドレスファミリ コンフィギュレーション

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者
VDC 管理者

コマンドの履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには使用上のガイドラインはありません。

例

BGP ルーティング プロセスで、1 つの宛先に最大 16 のパスを許容する例を示します。

```
switch(config)# router bgp 64496  
switch(config-router)# maximum-paths 16
```

関連コマンド

コマンド	説明
feature bgp	ルータの BGP 機能をイネーブルにします。
router bgp	BGP をイネーブルにします。

maximum-paths (EIGRP)

Enhanced Interior Gateway Routing Protocol (EIGRP) がサポートするパラレル ルータの最大数を制御するには、**maximum-paths** コマンドを使用します。コンフィギュレーション ファイルから **maximum-paths** コマンドを削除し、デフォルトに戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

maximum-paths *maximum*

no maximum- paths

シンタックスの説明

<i>maximum</i>	EIGRP がルーティング テーブル内にインストールできるパラレル ルートの最大数。範囲は 1 ~ 16 ルートです。
----------------	---

デフォルト

8 パス

コマンド モード

アドレス ファミリ コンフィギュレーション
ルータ コンフィギュレーション
ルータ VRF コンフィギュレーション

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者
VDC 管理者

コマンドの履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが追加されました。
4.0(2)	デフォルトの最大パスが 16 から 8 に変更されました。

使用上のガイドライン

EIGRP がルーティング テーブルに各プレフィクスに対して複数のパスをインストールできるようにするには、**maximum-paths** コマンドを使用します。内部ルートと外部ルートの両方について、同じ自律システムで学習され、等コスト (EIGRP 最適パス アルゴリズムに基づいて) である複数のパスがインストールされます。

このコマンドには、Enterprise Services ライセンスが必要です。

例

次の例では、1 つの宛先に最大 10 のパスが許可されます。

```
switch(config)# router eigrp 1
switch(config-router)# maximum-paths 10
```

maximum-paths (IS-IS)

IP ルーティング プロトコルがサポートするパラレル ルートの最大数を制御するには、**maximum-paths** コンフィギュレーション モード コマンドを使用します。デフォルトのパラレル ルート数に戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

maximum-paths *number-paths*

no maximum-paths

シンタックスの説明

<i>number-paths</i>	IP ルーティング プロトコルがルーティング テーブルにインストールするパラレル ルートの最大数。範囲は 1 ~ 16 です。
---------------------	---

コマンドのデフォルト

8 パス

コマンド モード

ルータ コンフィギュレーション
VRF コンフィギュレーション

サポートされるユーザ ロール

ネットワーク 管理者
VDC 管理者

コマンドの履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには使用上のガイドラインはありません。

例

IS-IS ルーティング プロセスで、1 つの宛先に最大 16 のパスを許容する例を示します。

```
switch(config)# router isis 3
switch(config-router)# maximum-paths 16
```

関連コマンド

コマンド	説明
exit	現在のコンフィギュレーション モードを終了します。
feature isis	ルータ上の IS-IS をイネーブルにします。
no	コマンドを無効にするか、またはデフォルト設定にします。
router isis	IS-IS をイネーブルにします。

maximum-paths (RIP)

Routing Information Protocol (RIP) がルーティング テーブルにインストールする等価コスト パラレル ルートの最大数を設定するには、ルータ アドレスファミリー コンフィギュレーション モードで、**maximum-paths** コマンドを使用します。**maximum-paths** コマンドを削除し、RIP に関してシステムをデフォルトの条件に戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

maximum-paths *maximum*

no maximum-paths

シンタックスの説明	<i>maximum</i>	RP がルーティング テーブル内にインストールできるパラレル ルートの最大数。範囲は 1 ~ 16 です。
-----------	----------------	---

デフォルト	8 パス
-------	------

コマンド モード	ルータ アドレスファミリー コンフィギュレーション
----------	---------------------------

サポートされるユーザロール	ネットワーク管理者 VDC 管理者
---------------	----------------------

コマンドの履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン	このコマンドにはライセンスは必要ありません。
------------	------------------------

例	次の例では、1 つの宛先に最大 16 の等価コスト パスが許可されます。
---	--------------------------------------

```
switch(config)# router rip Enterprise
switch(config-router)# address-family ipv4 unicast
switch(config-router-af)# maximum-paths 16
```

関連コマンド	コマンド	説明
	address-family	アドレスファミリー コンフィギュレーション モードに入ります。

maximum-paths (OSPF)

Open Shortest Path First (OSPF) がサポートするパラレル ルートの最大数を制御するには、**maximum-paths** コマンドを使用します。コンフィギュレーション ファイルから **maximum-paths** コマンドを削除し、デフォルトに戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

maximum-paths *maximum*

no maximum-paths

シンタックスの説明

<i>maximum</i>	OSPF がルーティング テーブル内にインストールできるパラレル ルートの最大数。範囲は 1 ~ 16 ルートです。
----------------	--

デフォルト

8 パス

コマンド モード

ルータ コンフィギュレーション
ルータ VRF コンフィギュレーション

サポートされるユーザ ロール

ネットワーク管理者
VDC 管理者

コマンドの履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

OSPF がルーティング テーブルに各プレフィクスに対して複数のパスをインストールできるようにするには、**maximum-paths** コマンドを使用します。内部ルートと外部ルートの両方について、同じ自律システムで学習され、等コスト (OSPF 最短パス優先アルゴリズムに基づいて) である複数のパスがインストールされます。

このコマンドには、Enterprise Services ライセンスが必要です。

例

次の例では、1 つの宛先に最大 10 のパスが許可されます。

```
switch(config)# router ospf 1
switch(config-router)# maximum-paths 10
```

maximum-paths (OSPFv3)

Open Shortest Path First version 3 (OSPFv3) がサポートするパラレル ルートの最大数を制御するには、**maximum-paths** コマンドを使用します。コンフィギュレーション ファイルから **maximum-paths** コマンドを削除し、デフォルトに戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

maximum-paths *maximum*

no maximum-paths

シンタックスの説明

<i>maximum</i>	OSPFv3 がルーティング テーブル内にインストールできるパラレル ルートの最大数。範囲は 1 ~ 16 ルートです。
----------------	--

デフォルト

8 パス

コマンド モード

アドレスファミリ コンフィギュレーション

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者
VDC 管理者

コマンドの履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

OSPFv3 がルーティング テーブルに各プレフィクスに対して複数のパスをインストールできるようにするには、**maximum-paths** コマンドを使用します。内部ルートと外部ルートの両方について、同じ自律システムで学習され、等コスト (OSPFv3 最短パス優先アルゴリズムに基づいて) である複数のパスがインストールされます。

このコマンドには、Enterprise Services ライセンスが必要です。

例

次の例では、1 つの宛先に最大 10 のパスが許可されます。

```
switch(config)# router ospfv3 1
switch(config-router)# address-family ipv6 unicast
switch(config-router-af)# maximum-paths 10
```

maximum-prefix

ネイバーから受信可能なプレフィックスの数を設定するには、ピア テンプレート コンフィギュレーション モードで、**maximum-prefix** コマンドを使用します。この機能をディセーブルにするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

maximum-prefix *maximum* [**threshold**] [**restart** *restart-interval*] [**warning-only**]

no maximum-prefix

シンタックスの説明

<i>maximum</i>	指定ネイバーから受信できるプレフィックスの最大数。設定可能なプレフィックス数は、ルータ上の使用可能なシステム リソースのみによって制限されます。範囲は 1 ~ 300000 です。
<i>threshold</i>	(任意) 最大プレフィックス数の制限値の何パーセントになったらルータが警告メッセージを生成するかを示すパーセンテージ。範囲は 1 ~ 100 です。デフォルトは 75 です。
restart <i>interval</i>	(任意) ピアリング セッションが再確立される時間間隔 (分)。範囲は 1 ~ 65535 です。
warning-only	(任意) 最大プレフィックス数の制限値を超えた場合、ピアリング セッションを終了せずに、ルータが syslog メッセージを生成できるようにします。

コマンドのデフォルト

このコマンドは、デフォルトではディセーブルです。最大プレフィックス数を超えると、ピアリング セッションはディセーブルになります。再起動間隔 (**restart interval**) を設定しないと、最大プレフィックス数の制限値超過後、ディセーブルになったセッションはダウン状態のままになります。

コマンド モード

ピア テンプレート コンフィギュレーション
ルータ BGP コンフィギュレーション

サポートされるユーザ ロール

ネットワーク管理者
VDC 管理者

コマンドの履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

設定可能なプレフィックス数は、ルータ上の使用可能なシステム リソースのみによって制限されます。

maximum-prefix コマンドを使用すると、Border Gateway Protocol (BGP; ボーダー ゲートウェイ プロトコル) ルーティング プロセスが指定ピアから受け入れるプレフィックスの最大数を設定できます。この機能は、ピアから受信されるプレフィックスの制御メカニズムを提供します (配布リスト、フィルタ リスト、ルート マップに加えて)。

受信プレフィックスの数が設定されている最大数を超えると、BGP はピアリングセッションをディセーブルにします（デフォルト）。**restart** キーワードが設定されている場合、BGP は設定されている時間間隔でピアリングセッションを自動的に再確立します。**restart** キーワードが設定されていないと、最大プレフィックス数の制限値を超えたためにピアリングセッションが終了した場合、そのピアリングセッションは **clear ip bgp** コマンドが入力されるまで再確立されません。**warning-only** キーワードが設定されていれば、BGP はログメッセージだけを送信し、送信側とピアを保ちます。

このコマンドで設定できるプレフィックス数には、デフォルトの制限値はありません。設定可能なプレフィックス数の制限は、システム リソースの容量によって決まります。

例

次の例では、192.168.1.1 ネイバーから受け入れられる最大プレフィックス数が 1000 に設定されます。

```
switch(config)# router bgp 64496  
switch(config-router)# network 192.168.0.0  
switch(config-router)# maximum-prefix 1000
```

次の例では、192.168.2.2 ネイバーから受け入れられる最大プレフィックス数が 5000 に設定されます。ルータは、最大プレフィックス リミット（2500 プレフィックス）の 50% に到達した段階で警告メッセージを表示するようにも設定されます。

```
switch(config)# router bgp 64496  
switch(config-router)# network 192.168.0.0  
switch(config-router)# maximum-prefix 5000 50
```

次の例では、192.168.3.3 ネイバーから受け入れられる最大プレフィックス数が 2000 に設定されます。ルータは、30 分後にディセーブルにされたピアリングセッションを再確立するようにも設定されます。

```
switch(config)# router bgp 64496  
switch(config-router)# network 192.168.0.0  
switch(config-router)# maximum-prefix 2000 restart 30
```

次の例では、192.168.4.4 ネイバーの最大プレフィックス数の制限値（500）を超えると警告メッセージが表示されます。

```
switch(config)# router bgp 64496  
switch(config-router)# network 192.168.0.0  
switch(config-router)# maximum-prefix 500 warning-only
```

message-digest-key (OSPF virtual link)

仮想リンクの Open Shortest Path First (OSPF) Message Digest 5 (MD5) 認証をイネーブルにするには、**message-digest-key** コマンドを使用します。古い MD5 キーを削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
message-digest-key key-id md5 [0 | 3] key
```

```
no message-digest-key key-id
```

シンタックスの説明

<i>key-id</i>	1 ~ 255 の範囲の識別子
0	MD5 キーを生成するための非暗号化パスワードの使用を指定します。
3	MD5 キーを生成するための暗号化 3DES パスワードの使用を指定します。
キー	最大 16 バイトの英数字パスワード

デフォルト

非暗号化

コマンドモード

仮想リンク コンフィギュレーション

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者
VDC 管理者

コマンドの履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

MD5 認証モードを設定する場合は **message-digest-key** コマンドを使用します。仮想リンク上の両方のインターフェイスで *key* 値を同じにする必要があります。

このコマンドには、Enterprise Services ライセンスが必要です。

例

キー 19、パスワード 8ry4222 を設定する例を示します。

```
switch(config-router)# area 22 virtual-link 192.0.2.2
switch(config-router-vlink)# message-digest-key 19 md5 8ry4222
```

関連コマンド

コマンド	説明
authentication (仮想リンク)	仮想リンク上に認証モードを設定します。

metric maximum-hops

指定した値よりも高いホップ カウントの Enhanced Interior Gateway Routing Protocol (EIGRP) が到達不能であることをアダプタイズするには、**metric maximum-hops** コマンドを使用します。値をデフォルトにリセットするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

metric maximum-hops *hops-number*

no metric maximum-hops

シンタックスの説明

<i>hops-number</i>	最大ホップ カウント。範囲は 1 ~ 255 ホップです。
--------------------	-------------------------------

デフォルト

hops-number: 100

コマンド モード

アドレス ファミリ コンフィギュレーション
ルータ コンフィギュレーション
ルータ VRF コンフィギュレーション

サポートされるユーザロール

ネットワーク 管理者
VDC 管理者

コマンドの履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

metric maximum-hops コマンドは、*hops-number* 引数に指定された値よりも大きいホップ カウントのルートを到達不能として EIGRP にアダプタイズさせる安全メカニズムを提供します。

このコマンドには、Enterprise Services ライセンスが必要です。

例

ホップ カウントを 200 に設定する例を示します。

```
switch(config)# router eigrp 1
switch(config-router) address-family ipv4 unicast
switch(config-router-af)# metric maximum-hops 200
```

関連コマンド

コマンド	説明
metric weights	EIGRP メトリック 計算を調整します。

metric weights

Enhanced Interior Gateway Routing Protocol (EIGRP) メトリック計算を調整するには、**metric weights** コマンドを使用します。デフォルト値にリセットするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

metric weights *tos k1 k2 k3 k4 k5*

no metric weights

シンタックスの説明		
<i>tos</i>		常にゼロにする必要のある Type of service (ToS; タイプ オブ サービス)
<i>k1 k2 k3 k4 k5</i>		EIGRP メトリック ベクトルをスカラー量に変換する定数。この引数の値は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • k1 : 範囲は 0 ~ 255 です。デフォルトは 1 です。 • k2 : 範囲は 0 ~ 255 です。デフォルトは 0 です。 • k3 : 範囲は 1 ~ 255 です。デフォルトは 1 です。 • k4 : 範囲は 0 ~ 255 です。デフォルトは 0 です。 • k5 : 範囲は 0 ~ 255 です。デフォルトは 0 です。

デフォルト	
<i>tos</i> : 0	
<i>k1</i> : 1	
<i>k2</i> : 0	
<i>k3</i> : 1	
<i>k4</i> : 0	
<i>k5</i> : 0	

コマンド モード	
	アドレス ファミリ コンフィギュレーション ルータ コンフィギュレーション ルータ VRF コンフィギュレーション

サポートされるユーザ ロール	
	ネットワーク管理者 VDC 管理者

コマンドの履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

EIGRP のルーティングおよびメトリック計算のデフォルト動作を変更し、特定の ToS の EIGRP メトリック計算の調整を可能にするには、**metric weights** コマンドを使用します。

k5 が 0 の場合、Cisco NX-OS は複合 EIGRP メトリックの計算を次の式に従って行います。

$$\text{メトリック} = [k1 \times \text{帯域幅} + (k2 \times \text{帯域幅}) / (256 - \text{負荷}) + k3 \times \text{遅延}]$$

k5 が 0 でない場合、Cisco NX-OS は次の計算を追加します。

$$\text{メトリック} = \text{メトリック} \times [k5 / (\text{信頼性} + k4)]$$

帯域幅メトリックの設定には、インターフェイス コンフィギュレーション モードで **bandwidth** コマンドを使用します。

遅延の設定には、インターフェイス コンフィギュレーション モードで **delay** コマンドを使用します。

255 は 100 % の信頼性または完全に安定したリンクを表します。負荷 255 は、完全に飽和状態のリンクを表します。

このコマンドには、Enterprise Services ライセンスが必要です。

例

metric weights のデフォルト値の変更例を示します。

```
switch(config)# router eigrp 1
switch(config-router) address-family ipv4 unicast
switch(config-router-af)# metric weights 0 2 0 2 0 0
```

関連コマンド

コマンド	説明
bandwidth	インターフェイス コンフィギュレーション モードで EIGRP 帯域幅メトリックを設定します。
delay	インターフェイス コンフィギュレーション モードで EIGRP 遅延メトリックを設定します。

metric-style transition

アドバタイズされた LSP 内で IS-IS によって使用されるメトリック スタイルを設定するには、**metric-style transition** コマンドを使用します。デフォルト設定に戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

metric-style transition

no metric-style transition

シンタックスの説明 このコマンドには、キーワードと引数はありません。

コマンドのデフォルト Wide metric style

コマンド モード ルータ コンフィギュレーション
VRF コンフィギュレーション

サポートされるユーザロール ネットワーク管理者
VDC 管理者

コマンドの履歴	リリース	変更内容
	4.1(2)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン **metric-style transition** コマンドは、ナロー メトリック スタイルとワイドメトリック スタイルの両方の Type Length Value (TLV) オブジェクトを生成して受け入れるように IS-IS を設定するために使用します。

このコマンドには、Enterprise Services ライセンスが必要です。

例 次に、メトリック スタイルを設定する例を示します。

```
switch(config-router)# metric-style transition
switch(config-router)#
```

関連コマンド	コマンド	説明
	feature isis	ルータ上の IS-IS をイネーブルにします。
	router isis	IS-IS インスタンスを作成します。

